

# 車筋



ブルージュの愛の湖公園 (白鳥)  
井山 庄司  
(サロン・プラン美術協会委員)

金融バブルの大破たんから  
実体経済への加速度的な影響  
は、日々深刻さを増してい  
る。

ホンダによるF1撤退やそ  
の他のモータースポーツから  
の撤退など矢継ぎ早に発表さ  
れた。自動車メーカーやカ  
ラ・O.A.機器メーカーによる  
期間工や派遣工の契約打ち切  
りなど、地域経済への影響も  
大きくなっており、自動車販  
売の低迷から始まって、次か  
ら次へと沈滞ムードに拍車か  
かかってきた。3月の期末に  
向かって、何が起きても不  
思議ではない状況が生まれてい  
る。

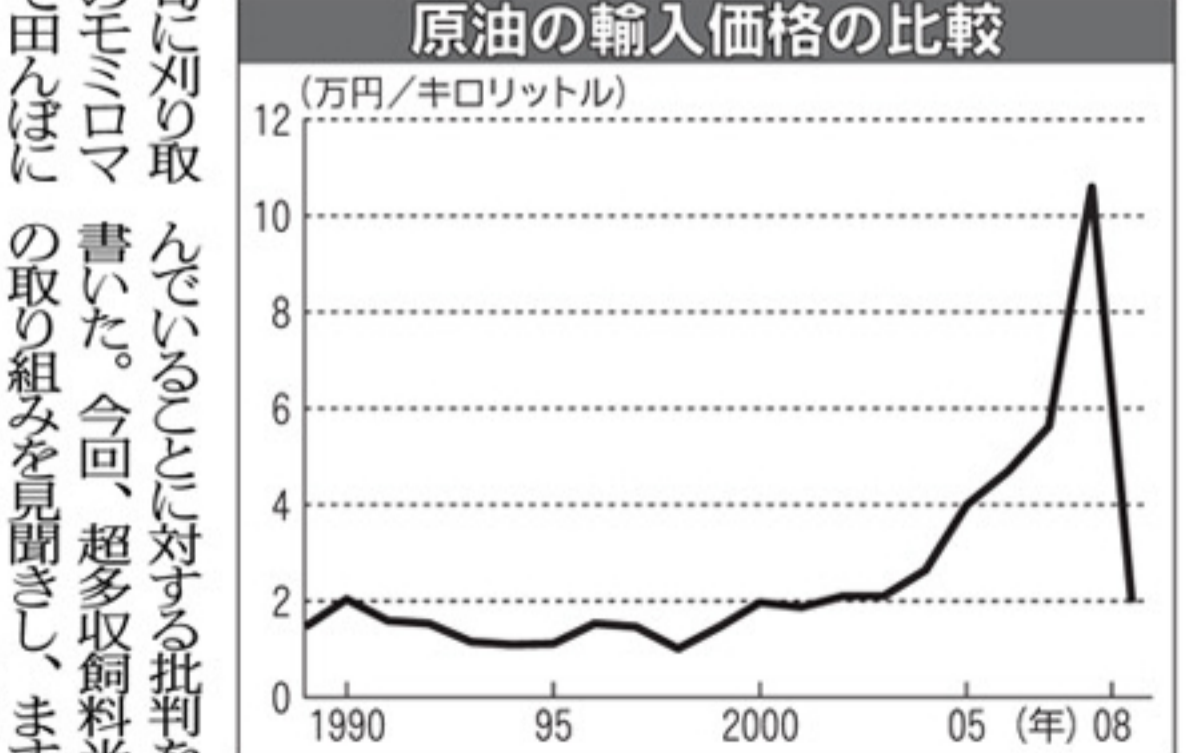
トヨタ自動車の2兆円の利  
益が6千億円に下方修正さ  
れ、さらに、マイナース150  
0億円に再修正されたこと  
で、リストラの競争が大手企  
業を先頭に日本中を席巻して  
いる。一説には、トヨタ自動  
車など自動車メーカーは、ア  
メリカのビッグスリーの受け  
皿とならないように先手を打  
ったというわけもあるが、  
その真偽のほどは別にして、

を言葉に  
国の予算  
は、赤字国  
債や埋蔵金  
頼みの大幅  
アップ予算  
が組まれて  
いるが、そ  
の多くは、  
従来予算の  
復活など、  
どろりさま  
ざれのよう  
だとの評価  
で、これら  
が果たして  
景気浮揚策  
になるかは甚だ疑問で、不明  
である。従来の枠組みでの行  
政のあり方が問われており、  
世界的に見れば、新自由主  
義、新資本主義の落とし影  
のような中で、景気対策

響は計り知れぬほど大きいと  
いえる。  
こんな暗い状況で暮れた2  
008年であるが、09年を将  
来に向けた明るい年にしたい  
ものである。  
さて、2年前の07年2、3  
月の本欄で、アメリカでのト  
ウモロコシを原料とするエタ  
ノールの製造が始まったこと  
により、飼料穀物であるトウ  
モロコシなどが大幅アップし  
ていることに触れた。国産穀  
物飼料の必要性や可能性につ  
いて、飼料米の可能性につ  
いて記述した。

青森トキワ養鶏農協の石澤  
直士専務理事が「米」で育て  
た卵についても紹介した。黄  
身の色は、白っぽくはあった  
が薄黄色であった。牧草のア  
ルファルファを加えたこのこ  
とで、加えないとと白く

も金融破たんから始まった世  
界的な経済の大混乱のなか  
で、それなりに下がってきた  
「モミロマン」と  
いう超多収飼料米  
は、コシヒカリな  
どの3倍以上の収  
量があり、若であ  
る量に取れるとい  
うことである。  
また、大量の堆  
肥を入れても倒伏  
せず、水の管理や  
突った状態で、多  
品種の米が10月初旬に刈り取  
りたものを、このモミロマン  
の取り組みを見聞きし、まず  
まずその感を強くした次第で  
ある。

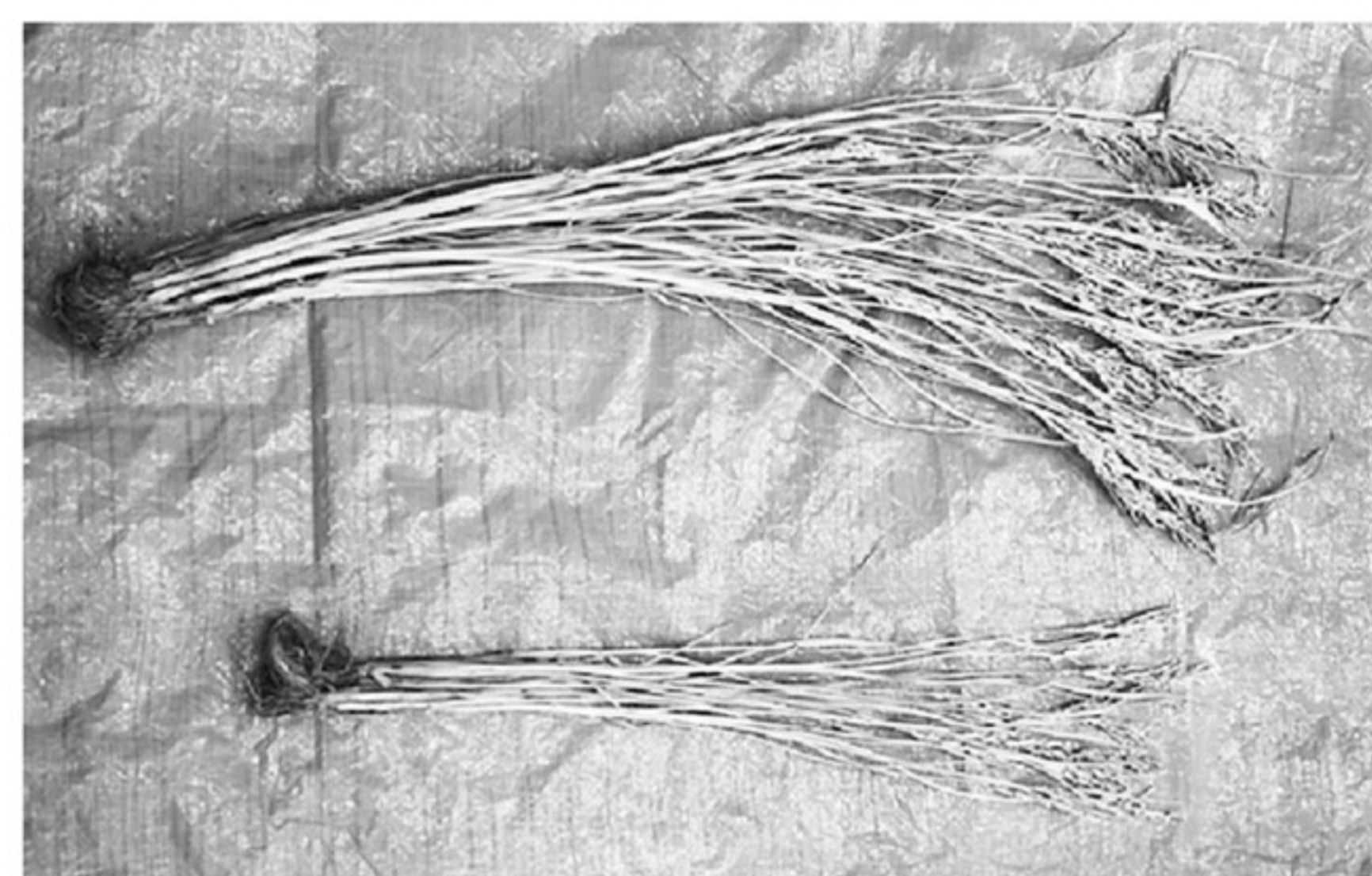


「こめたまご」を販売する。  
飼料米の配合比率は20%で、  
10個入り258円(白卵)と  
6個入り178円(赤卵)の  
2種類。「卵黄色や価格への  
組合員の評価を聞き、宅配へ  
の拡大なども検証したい」と  
している。  
5月から販売を周年化した  
パルシステム生協連合会(東  
京都、組合員約113万人)  
は、売れ行きに手応えをつか  
む。毎週、インターネット受  
注で「トキワの玄米玉子」6  
個入り60パックを販売。開始  
から10月3週の時点まで24週  
連続で完売している。「むつ  
ほまれ」を中心に、飼料米の  
配合比率は6割。鶏は平飼い  
のため価格は1パック480  
円と高くなるが、一定の固定  
客が生まれたという。  
担当者は「自然な卵黄の色  
をPRし、それが受け入れら  
れているようだ」と話す。飼  
料米の利用は養豚で先行して  
きたが、鶏卵、さらには肉牛  
へと広がりを見せてきた。  
生活クラブ生協連合会(東  
京都、組合員約31万人)は、  
木更開拓農協と連携し、飼料  
米の作付けを始めた。まず豚  
肉すべてに飼料米を与えるこ  
とから始め、数年後は牛へ  
も給与し、飼料米で育てた牛  
肉を販売する構想だ。「耕  
種、畜産など多様な生産者と  
消費地とが交流できる、産地  
丸ごと提携、を目指したい」  
という。

## 自動車燃料と車種選択 と今後の見通し(その5)

食糧自給率の向上とバイオ  
マスエネルギー

DME自動車普及  
推進委員会事務局  
若狭 良治



①モミロマン(関東飼226号)と②コシヒカリ

なるということであった。  
この2年間で、飼料として  
の米の利用方法について、ト  
ウモロコシ価格の高騰という  
背景があり、普及の動きが大  
きくなってきた。特に、東京  
農業大学の信岡誠治准教授  
が、畜産マシメントの立場  
から飼料米を研究し、「超多  
収」という表現がふさわしい  
飼料米を研究改良し、実際の  
農家が痛めつけられ、離農せ  
ざるを得ない状況が生まれ  
きている。

の石澤直士会長、畜産農全  
国協議会の森島倫生会長、消  
費者として生活クラブ事業連  
合生活協同組合連合会の加藤  
好一会長理事、家庭栄養研究  
会の連尾隆子副会長によるパ  
ネルディスカッションが行わ  
れた。  
トウモロコシ価格の高騰に  
よる飼料高騰で相当数の畜産  
農家が痛めつけられ、離農せ  
ざるを得ない状況が生まれ  
きている。

を含まないこと、ここで述べ  
ることはできないが、今回の  
ポイントはその中で、超多  
収飼料米といわれる米の役割  
であると思う。  
米は、狭い国土の日本に適  
した作物であることが言われ  
るが、その最大の特徴は、水  
田という農法で、土が水で毎  
年洗われることにより、ウイ  
ルスなどによる連作障害が発  
生しないことで、同じ場所  
で同じ米を作り続けることが  
できるということだ。

今回の信岡准教授  
も金融破たんから始まった世  
界的な経済の大混乱のなか  
で、それなりに下がってきた  
「モミロマン」と  
いう超多収飼料米  
は、コシヒカリな  
どの3倍以上の収  
量があり、若であ  
る量に取れるとい  
うことである。  
また、大量の堆  
肥を入れても倒伏  
せず、水の管理や  
突った状態で、多  
品種の米が10月初旬に刈り取  
りたものを、このモミロマン  
の取り組みを見聞きし、まず  
まずその感を強くした次第で  
ある。

11月2日付の日本農業新聞  
の1面トップに次のような記  
事が掲載された。  
「卵は米育ち 鶏飼料に配  
割高も人気 首都圏の生  
協が次々商品化」  
「食料自給率向上の観点か  
ら飼料米が注目を集める中、  
首都圏の2生協が今月、米で  
育てた鶏卵の試験販売に乗り  
出す。トウモロコシなどの配  
合飼料で育てた通常の卵に比  
べ、黄身の色が淡いのが特  
徴。価格もやや高めとあって  
消費者の反応は未知数だが、  
先行販売する別の生協では、  
完売が6カ月間続くと反響  
も出ている。  
東都生協(東京都・組合員  
約22万人)は17日から1週  
間、「産直えさ米卵」を35  
00パック(1パック6個)  
限定で販売する。茨城県のJ  
Aひたち野管内で作付した  
米「タカナリ」を飼料の約6  
割を占めるトウモロコシの代  
わりに使う。価格は1パック  
198円。担当者は「米育ち  
だからと特別視せず、普通に  
食べてほしい」と期待を込め  
る。  
1都7県の生協でつくるコ  
ーネット事業連合(さいたま  
市、組合員約342万人)  
は3日から来年2月まで、東  
京、埼玉、千葉の59店舗で

私の主張

徹  
わたち

「こめたまご」を販売する。  
飼料米の配合比率は20%で、  
10個入り258円(白卵)と  
6個入り178円(赤卵)の  
2種類。「卵黄色や価格への  
組合員の評価を聞き、宅配へ  
の拡大なども検証したい」と  
している。  
5月から販売を周年化した  
パルシステム生協連合会(東  
京都、組合員約113万人)  
は、売れ行きに手応えをつか  
む。毎週、インターネット受  
注で「トキワの玄米玉子」6  
個入り60パックを販売。開始  
から10月3週の時点まで24週  
連続で完売している。「むつ  
ほまれ」を中心に、飼料米の  
配合比率は6割。鶏は平飼い  
のため価格は1パック480  
円と高くなるが、一定の固定  
客が生まれたという。  
担当者は「自然な卵黄の色  
をPRし、それが受け入れら  
れているようだ」と話す。飼  
料米の利用は養豚で先行して  
きたが、鶏卵、さらには肉牛  
へと広がりを見せてきた。  
生活クラブ生協連合会(東  
京都、組合員約31万人)は、  
木更開拓農協と連携し、飼料  
米の作付けを始めた。まず豚  
肉すべてに飼料米を与えるこ  
とから始め、数年後は牛へ  
も給与し、飼料米で育てた牛  
肉を販売する構想だ。「耕  
種、畜産など多様な生産者と  
消費地とが交流できる、産地  
丸ごと提携、を目指したい」  
という。